



緑茶の輸出

～“MATCHA”(抹茶)ブーム拡大中！～

平成30年4月18日
大阪税関

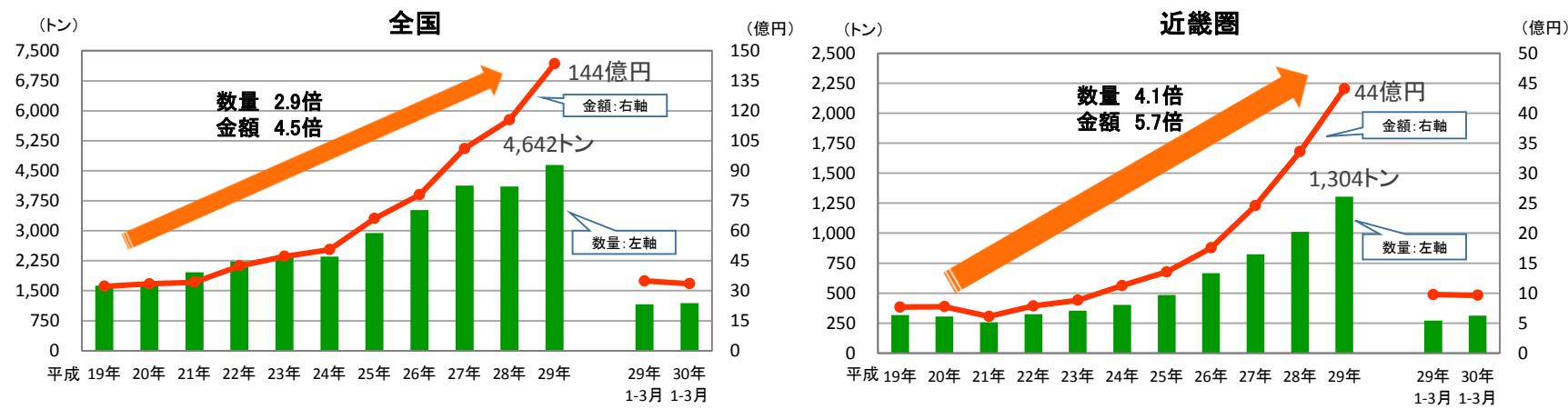


夏も近づくハ十八夜～♪の歌詞で始まる茶摘みの歌で知られるように、立春から数えて88日目の日(本年は5月2日)は、夏に向けて気候が安定してくることから茶摘みなどの農作業を開始するのに最適な時期とされています。この時期に摘み取られたやわらかな新芽で製造されるお茶を「新茶」と呼び、爽やかな香りや、渋みなどが少なく、うまみ成分が多いのが特徴です。今回は、茶摘みの季節に合わせて緑茶の輸出を取り上げました。

数量・金額推移

平成29年の全国の緑茶の輸出数量は2年ぶりに増加し4,642トン(前年比113.0%)、輸出金額は16年連続で増加し144億円(同124.3%)と数量、金額ともに**過去最高**を記録しました。10年前(平成19年)と比較して数量は2.9倍、金額は4.5倍と高い伸びを示しており、政府が掲げた目標輸出額「2020年に150億円」の到達も期待されています。

近畿圏においても、平成29年の輸出数量は8年連続で増加し1,304トン(同129.1%)、金額は8年連続で増加し44億円(同131.3%)と数量、金額ともに**過去最高**を記録しました。10年前との比較では、数量は4.1倍、金額は5.7倍と全国より高い伸びとなっています。



(注1)本特集における緑茶は、統計品目番号①0902.10-000「緑茶(発酵していないもので、正味重量が3キログラム以下の直接包装したものに限る。)」及び②0902.20-000「その他の緑茶(発酵していないものに限る。)」に分類されるものを合計しています。本特集では①を「個包装」、②を「パルク」とします。

(注2)過去最高は1988年以降の比較による。

(注3)本特集における経済圏は以下の都府県を含むものです。

近畿圏: 大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県

首都圏: 東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県

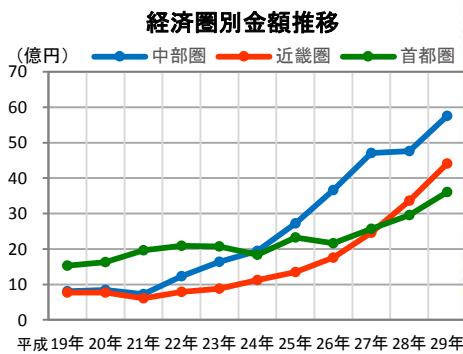
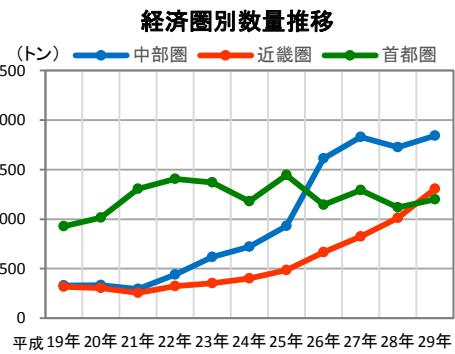
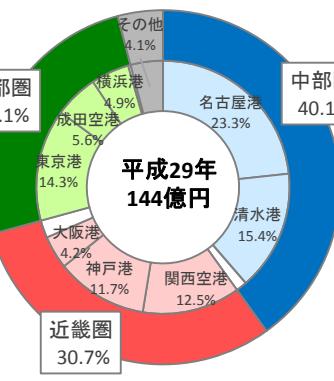
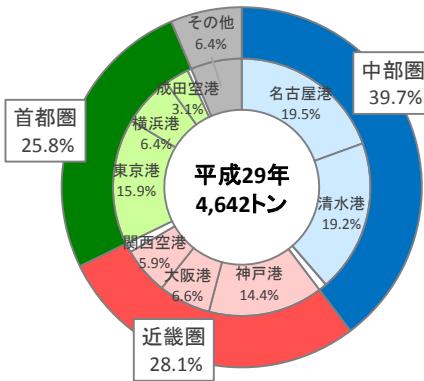
中部圏: 愛知、岐阜、三重、長野、静岡の5県

(注4)平成29年までは確定値。平成30年1~3月は速報値。

経済圏別 港別構成比

平成29年の経済圏別構成比をみると近畿圏は数量、金額ともに中部圏に次いで第2位であり、数量より金額においてシェアが高くなっています。また、平成19年以降の経済圏別数量・金額推移をみると、近畿圏の輸出数量は平成29年に、金額は平成28年に初めて首都圏を抜きました。

業界によると、近畿圏で通関する理由は生産拠点のある京都や三重から近く、関西空港や神戸港から輸出国への航路が充実しているためとのことです。

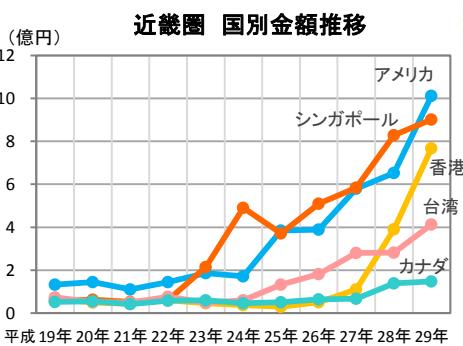
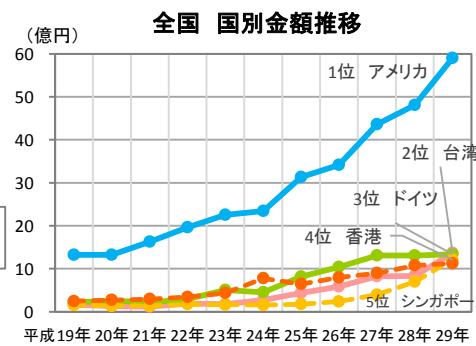
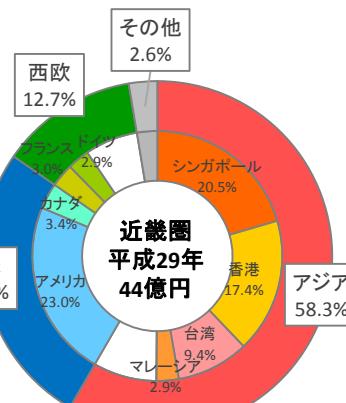
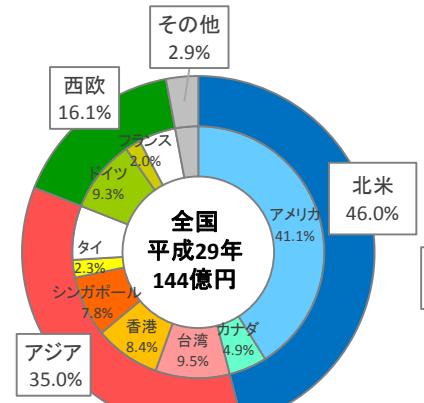


全国・近畿圏 地域・国別金額構成比

平成29年に緑茶は全国から世界68か国に、近畿圏からは世界51か国に輸出されました。輸出金額の地域別構成比をみると、全国では北米向けが5割弱を占め、アジア、西欧が続きますが、近畿圏では6割近くをアジアが占め、北米、西欧の順となっています。

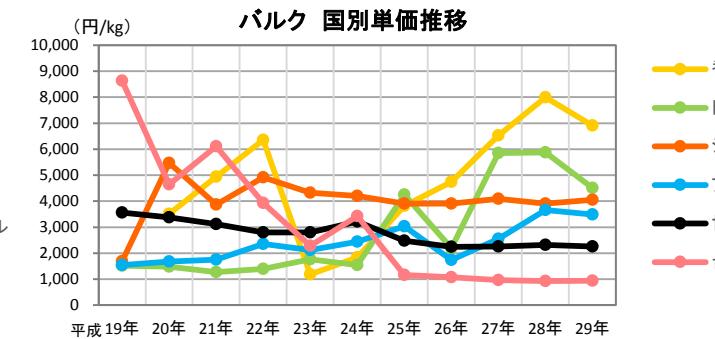
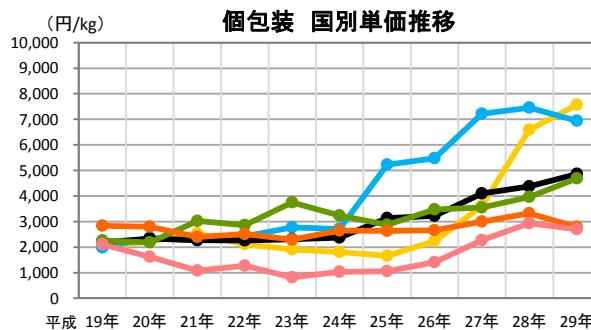
平成19年以降の国別輸出金額推移をみると、全国ではアメリカの金額が突出して多く、近年の伸びも大きくなっていますが、近畿圏では近年アメリカ、シンガポール、台湾が伸びていたところ、平成28年に香港が急増して台湾を抜き3位となりました。

業界によると、アジア、アメリカを中心に輸出が増えている背景としては、特に抹茶の人気が高まり、輸出される緑茶に占める抹茶の割合が増えていることから、茶葉より単価が高い抹茶により輸出金額が押し上げられているとのことです。



近畿圏 国別単価推移

国別単価(円/kg)推移をみると、個包装、バルクともに香港向けが最も高くなっています。業界によると、香港向けは抹茶の割合が高く、なかでも産地にこだわった上質なものが多いそうです。また、個包装のアメリカ向けについても上質な抹茶が多いため単価が高く、カフェで提供されるドリンク等に使用されるようです。バルクの台湾向けの単価が低いのは、主にペットボトル緑茶飲料の製造に使用する原料用茶葉が大量に輸出されているためとのことです。



近畿圏から輸出されている主な商品

業界によると、近畿圏から輸出される緑茶は、いずれの国向けにも抹茶が多く、スムージーやラテ等のドリンク原料やアイスクリーム、デザート、菓子等の材料に使用されるそうです。

台湾やフランスには煎茶等の茶葉も輸出され、家庭やレストラン、ホテル等で飲まれるそうです。

また、台湾にはペットボトル緑茶飲料用の茶葉も多く輸出され、現地の工場でペットボトル飲料に加工後、主にコンビニエンスストアの店頭に並ぶようです。



日本茶輸出促進協議会は、輸出向け製品に添付し日本茶をPRするロゴマークを作成しました。

模倣品と区別し、日本産であることを容易に判別できるようにして、高品質で安心・安全な日本茶を世界に提供することを目指します。

絵柄は、雁が枝(茶)をくわえて大海を渡ることから、雁を上質な日本茶の原料である「一芯二葉」に見立て、海外に向かう日本茶のシンボルとしました。

2018年3月





お茶の分類

お茶は製茶法により大きく分けると、紅茶、烏龍茶、緑茶の3種類があります。茶葉を完全に発酵させたものが紅茶、途中まで発酵させてから炒って発酵を止めたものが烏龍茶、発酵させない不発酵茶が緑茶です。不発酵のため、茶の中でも緑茶はビタミンCなどの成分が失われていないのが特徴です。

最近人気の抹茶の原料である碾茶は、茶園に覆いをかぶせて栽培されます。日光をあてないようにすることで、うまみ成分が含まれているテアニンが、渋み成分であるカテキンへ変化することが少なくなり、うまみが多いお茶ができます。



宇治茶



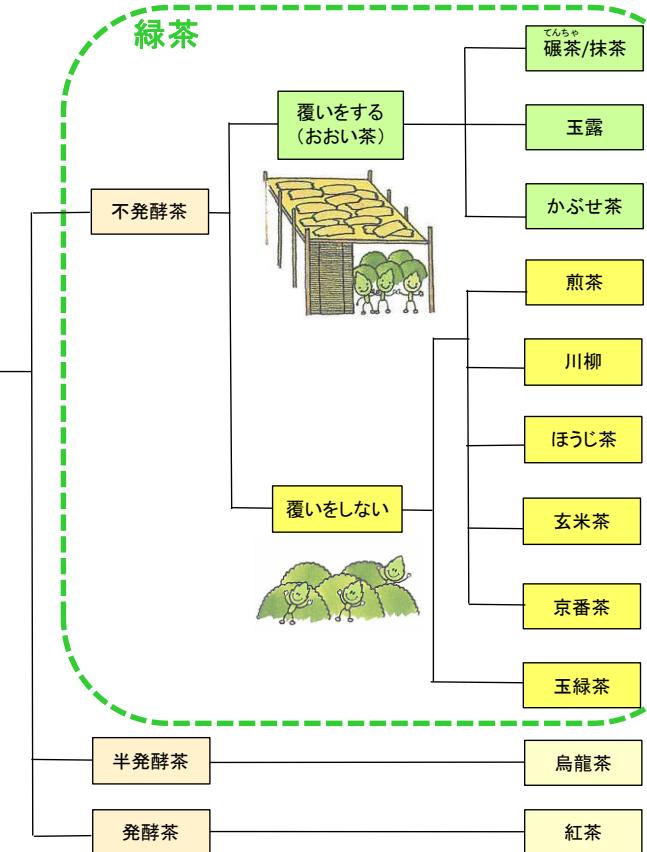
宇治茶ブランド

京都府、奈良県、滋賀県、三重県の4府県産茶を京都府内業者が京都府内において宇治地域に由来する製法により仕上加工した緑茶

宇治茶の産地には宇治川、木津川などが流れ、年間1,500mm以上の降水量があり、小高い傾斜のある地形のため、昼夜の温度差があり、茶の芽の大敵である霜を防ぐ霧が発生しやすいなど茶の栽培に適した気候、地形に恵まれています。（「宇治茶大好き」京都府茶協同組合発行より）

抹茶の原料である碾茶や玉露等を含むおおい茶の都道府県別生産量は1位京都、2位三重、6位奈良となっています。（農林水産省大臣官房統計部調平成28年度実績）

茶



「宇治茶大好き」京都府茶協同組合発行より

おわりに

平成25年に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことや海外での日本食レストランの増加により、和食の認知度も上がり、それに伴い海外でも緑茶は身近な飲み物となりつつあるようです。また、飲料だけでなくアイスクリームやケーキ、チョコレート等に使用する加工用抹茶の需要も増加しており、抹茶味は定番の味のひとつに加わっているようです。近年はカテキンやアミノ酸、ビタミン等その有効成分も注目されています。

業界によると、日本産の緑茶は他国産のものに比べ高価格であるものの、色、味に優れ高品質であることや安心安全であるという信頼性が評価されており、特にここ数年は、アメリカやアジアを中心に世界中で抹茶ブームが拡大しており、輸出が急増しているとのことです。近年は低価格の中国、台湾、韓国産緑茶との競合や国毎に異なる残留農薬基準への対応など課題を抱えているものの、抹茶を中心に需要は高まっており、ニーズに沿った商品開発や、有機栽培や減農薬栽培茶などの取扱いの拡大、中東やロシア等新たな輸出先の開拓などを行い、さらに輸出を増やしていきたいとのことです。

【データ集】

年別輸出数量実績

	全国		近畿圏		
	トン	前年比	トン	前年比	全国比
平成19年	1,625	103.1%	316	125.8%	19.5%
平成20年	1,701	104.7%	304	96.2%	17.9%
平成21年	1,958	115.1%	256	84.1%	13.1%
平成22年	2,232	114.0%	325	126.9%	14.6%
平成23年	2,387	106.9%	353	108.6%	14.8%
平成24年	2,351	98.5%	402	113.9%	17.1%
平成25年	2,942	125.2%	486	120.8%	16.5%
平成26年	3,516	119.5%	666	137.1%	18.9%
平成27年	4,127	117.4%	824	123.7%	20.0%
平成28年	4,108	99.5%	1,011	122.7%	24.6%
平成29年	4,642	113.0%	1,304	129.1%	28.1%
平成29年1~3月	1,164	110.7%	270	123.3%	23.2%
平成30年1~3月	1,189	102.1%	312	115.6%	26.3%

年別輸出金額実績

	全国		近畿圏		
	百万円	前年比	百万円	前年比	全国比
平成19年	3,222	105.2%	767	116.2%	23.8%
平成20年	3,344	103.8%	774	100.9%	23.1%
平成21年	3,422	102.3%	612	79.0%	17.9%
平成22年	4,242	123.9%	786	128.5%	18.5%
平成23年	4,716	111.2%	881	112.1%	18.7%
平成24年	5,053	107.2%	1,126	127.7%	22.3%
平成25年	6,610	130.8%	1,353	120.2%	20.5%
平成26年	7,799	118.0%	1,753	129.6%	22.5%
平成27年	10,106	129.6%	2,458	140.2%	24.3%
平成28年	11,551	114.3%	3,358	136.6%	29.1%
平成29年	14,357	124.3%	4,408	131.3%	30.7%
平成29年1~3月	3,486	136.0%	975	148.1%	28.0%
平成30年1~3月	3,350	96.1%	964	98.9%	28.8%

経済圏別・港別輸出数量構成比(平成29年)

	トン	全国比
全国	4,642	100.0%
中部圏	1,842	39.7%
名古屋港	903	19.5%
清水港	891	19.2%
その他	48	1.0%
近畿圏	1,304	28.1%
神戸港	670	14.4%
大阪港	305	6.6%
関西空港	276	5.9%
その他	54	1.2%
首都圏	1,198	25.8%
東京港	736	15.9%
横浜港	297	6.4%
成田空港	142	3.1%
その他	23	0.5%
その他	297	6.4%

経済圏別輸出数量推移

	近畿圏	中部圏	首都圏	その他
平成19年	316	328	928	52
平成20年	304	332	1,015	49
平成21年	256	294	1,307	102
平成22年	325	439	1,405	63
平成23年	353	618	1,369	47
平成24年	402	720	1,180	49
平成25年	486	931	1,446	80
平成26年	666	1,613	1,144	93
平成27年	824	1,829	1,293	182
平成28年	1,011	1,724	1,119	254
平成29年	1,304	1,842	1,198	297

経済圏別輸出金額推移

	近畿圏	中部圏	首都圏	その他
平成19年	767	803	1,531	120
平成20年	774	843	1,624	103
平成21年	612	728	1,961	122
平成22年	786	1,231	2,093	132
平成23年	881	1,640	2,072	122
平成24年	1,126	1,947	1,839	141
平成25年	1,353	2,721	2,325	211
平成26年	1,753	3,660	2,157	228
平成27年	2,458	4,709	2,571	369
平成28年	3,358	4,762	2,956	475
平成29年	4,408	5,751	3,607	592

全国・経済圏別単価推移

	近畿圏	中部圏	首都圏	全国
平成19年	2,425	2,446	1,650	1,983
平成20年	2,543	2,538	1,600	1,966
平成21年	2,390	2,479	1,501	1,748
平成22年	2,420	2,802	1,489	1,900
平成23年	2,499	2,656	1,513	1,975
平成24年	2,800	2,706	1,559	2,150
平成25年	2,785	2,924	1,608	2,246
平成26年	2,634	2,268	1,886	2,218
平成27年	2,984	2,574	1,989	2,449
平成28年	3,323	2,762	2,641	2,812
平成29年	3,380	3,122	3,011	3,093

全国 地域別 輸出金額(平成29年)

順位	地域・国名	百万円	前年比	構成比
地域別	1 北米	6,603	126.1%	46.0%
	2 アジア	5,024	139.7%	35.0%
	3 西欧	2,307	99.5%	16.1%
	4 大洋州	234	94.6%	1.6%
	5 中東欧・ロシア等	94	119.4%	0.7%
	6 中南米	48	161.0%	0.3%
	7 中東	36	98.3%	0.3%
	8 アフリカ	10	189.1%	0.1%
国別	1 アメリカ合衆国	5,901	122.8%	41.1%
	2 台湾	1,367	164.2%	9.5%
	3 ドイツ	1,337	102.5%	9.3%
	4 香港	1,211	174.4%	8.4%
	5 シンガポール	1,123	104.3%	7.8%
	6 カナダ	702	162.7%	4.9%
	7 タイ	324	104.6%	2.3%
	8 フランス	285	88.4%	2.0%
	9 マレーシア	277	123.2%	1.9%
	10 中華人民共和国	254	361.2%	1.8%

近畿圏 地域別 輸出金額(平成29年)

順位	地域・国名	百万円	前年比	構成比
地域別	1 アジア	2,572	138.9%	58.3%
	2 北米	1,160	146.4%	26.3%
	3 西欧	561	91.5%	12.7%
	4 大洋州	46	95.1%	1.1%
	5 中東欧・ロシア等	38	170.1%	0.9%
	6 中南米	18	117.4%	0.4%
	7 中東	8	54.5%	0.2%
	8 アフリカ	5	2412.9%	0.1%
国別	1 アメリカ合衆国	1,012	155.0%	23.0%
	2 シンガポール	902	108.8%	20.5%
	3 香港	767	196.0%	17.4%
	4 台湾	413	146.7%	9.4%
	5 カナダ	148	106.1%	3.4%
	6 フランス	134	73.7%	3.0%
	7 マレーシア	127	120.1%	2.9%
	8 ドイツ	126	91.0%	2.9%
	9 中華人民共和国	124	453.2%	2.8%
	10 タイ	95	143.1%	2.2%

全国 国別輸出金額推移

	アメリカ	台湾	ドイツ	香港	シンガポール
19年	1,322	163	210	156	246
20年	1,321	131	255	133	272
21年	1,626	120	211	135	291
22年	1,963	188	296	173	343
23年	2,252	179	503	162	434
24年	2,339	274	448	155	777
25年	3,130	440	814	173	642
26年	3,416	583	1,043	238	794
27年	4,364	826	1,311	395	896
28年	4,805	833	1,305	695	1,076
29年	5,901	1,367	1,337	1,211	1,123

近畿圏 国別輸出金額推移

	アメリカ	シンガポール	香港	台湾	カナダ
19年	133	57	66	74	53
20年	144	63	49	52	56
21年	111	52	44	49	42
22年	145	62	61	77	59
23年	187	215	47	49	60
24年	171	491	38	60	47
25年	386	371	30	133	51
26年	389	510	51	183	65
27年	580	584	110	281	68
28年	653	829	391	282	139
29年	1,012	902	767	413	148

近畿圏 個包装単価推移

(単位:円/kg)

	香港	アメリカ	世界	フランス	シンガポール	台湾
19年	2,018	1,983	2,178	2,262	2,831	2,113
20年	2,216	2,361	2,335	2,180	2,798	1,616
21年	2,532	2,256	2,276	3,022	2,391	1,085
22年	2,110	2,428	2,263	2,854	2,506	1,275
23年	1,904	2,773	2,306	3,755	2,299	818
24年	1,809	2,709	2,367	3,230	2,653	1,029
25年	1,664	5,232	3,140	2,878	2,639	1,053
26年	2,228	5,480	3,225	3,476	2,664	1,414
27年	3,614	7,221	4,105	3,553	2,998	2,271
28年	6,590	7,455	4,376	3,967	3,320	2,929
29年	7,566	6,944	4,863	4,683	2,789	2,695

近畿圏 パルク単価推移

(単位:円/kg)

	香港	ドイツ	シンガポール	アメリカ	世界	台湾
19年	-	1,513	1,688	1,548	3,564	8,630
20年	3,507	1,475	5,471	1,679	3,379	4,640
21年	4,939	1,272	3,868	1,750	3,121	6,106
22年	6,357	1,395	4,911	2,360	2,803	3,935
23年	1,187	1,763	4,324	2,115	2,802	2,277
24年	1,842	1,544	4,200	2,445	3,211	3,421
25年	3,825	4,252	3,901	3,026	2,479	1,158
26年	4,744	2,193	3,903	1,736	2,249	1,078
27年	6,524	5,850	4,091	2,554	2,253	969
28年	7,995	5,874	3,903	3,659	2,319	932
29年	6,903	4,513	4,056	3,484	2,254	939

Thank you
very matcha☆



※本資料を他に転載するときは、大阪税
関の資料に基づく旨を記してください。
※本資料に関するお問い合わせは大阪税
関調査部調査統計課まで。(電話06-
6966-5385)
大阪税関ホームページ
(http://www.customs.go.jp/osaka/)